

# 小さくても輝く自治体から発信し、変えてゆくのも大事

すからぬ。  
いろいろな輝く取り  
組みにヒントが

赤井川村長・竹田和晃さんと紙智子参議院議員の対談を二日付につづいて、お届けします。

**紙** 昨年は災害の年でし  
全国的に台風が来て、  
北海道は十八号がひどく  
たんですけれど、赤井川  
さんみたいへんだったと伺  
いました。

**竹田** あの災害で役場が  
まる二日間、停電になりま  
した。僕たちの仕事という  
のは、まず、電気が停電と  
なったら水を心配します。



赤井川村長  
竹田 和晃さん

## 2005年新春 なごやか対談

紙 智子さん  
日本共産党参議院議員

道路をふさいでいる。北電  
もパニックになっていて手  
が回らないですよ。だから  
地域の自治体に電柱をよけ  
ていいですよ、といつてく  
れればいいんです。けれど  
もしない。うちよりの官僚的  
で一切さわらせないんで  
す。安全を重視してと思  
います。

今度は道路が寸断されて  
いる。あとき思ったのは  
北電さんとNTTさんの対  
応です。電柱に線が走って  
いますよね。それが倒れて  
幌なんかでは道庁の倉見で  
も連携がとれている  
というけれ

ど、現実には、なや、改善  
の余地があります。

台風が収まって外に出ら  
れるようになってから、職  
員を班編成して出しまし  
た。職員には、まずは人力  
でやれと、どうしてもだめ  
だったら消防のレスキュー  
車を出すと。それでもだめ  
だったら業者を出すとい  
う三段階でやりました。

僕は、今回のことでライ  
フラインをやっている人た  
ちは、あまり危機管理がな  
いのかなと思いました。札  
ばつたと。一日いっばい  
機械をもって走りまわって  
いましたからね。

### 人を育てていくの も国づくりの根幹

**竹田** うちの村は平成十  
三年から中学生を全員、オ  
ーストラリアに送っていま  
す。よ、なんで赤井川村で  
できるの？と聞かれます。

昨年、たまたま中学校の  
生徒会役員の子三人が募金  
を持って来たとき、「村

長、いま、地方財政がたい  
へんだというけど、地方交  
付税も減らされるというけ  
ど、どうして私たちに八百  
万円も九百万円も投資でき  
るんですか、私たちをオー  
ストラリアに送る特別のお  
金があるんですか」と。中  
学生だから直球勝負なんで  
すよ。

予算は退職した職員の給  
与分を補充しないで充当し  
たのですが、何か特別なお  
金があるんじゃないかと思  
っていたみたいです。(笑)

**紙** 疑問に思っていたん  
ですね。(笑)

**竹田** 本当は学校教育の  
一環として学校行事として  
出したとおもったんで  
す。村は村立中学校ですが  
らそこに投資することで親  
の事情に関わりなくいける  
なと思ったんですけど、だ  
めだったんで、社会教育事  
業をやっています。

**紙** やっぱの人を育てて  
いくのも国づくりの根幹で

**紙** 最後にこれから、国  
の政治の進む方向として  
本当に小さくても輝く自治  
体から発信して変えてゆく  
のも大事だと思うんです  
ね。日本一の田舎めぐりに  
とろくんでいる京都の深山  
町など、いろいろな輝く取り  
組みとかがされていて、そこ  
にいっぱいヒントになるも  
のがあると思うんです。

いまの赤井川村の非常に  
大切な話を聞いて、私は国  
政なわけですから、国政で  
生かしていける政治になる  
ようにしていくのが私の使  
命だと思っっているんです。

**竹田** そうやってくれ  
ば私たち田舎の首長はもっ  
とものがなりますよ。  
いまは反骨心でやってい  
る。納得づくではやってい  
ないんです。

**紙** 共産党員で首長さん  
になっているところが、い  
ま、全国に十三カ所あるん  
です。

**竹田** 首長さんに話を聞くと、

職員のみなさんが実際に住  
民のところにしかけてい  
て懇談会をすうつとやって  
いるんです。そこからだ  
れる住民の声にどうやって  
答えていくか。たとえば介  
護保険制度とか色々あるん  
ですけれども、どうやった  
ら負担を軽減することがで  
きるか、ということを制度  
の枠内ですけれども真剣に  
考えて議論するようになって  
きたし、案も考えるように  
なったというんです。

**竹田** 僕は赤井川役場な  
んだから、赤井川村の住民  
の役にたつ場所だなければ  
ならないと。村長は、事務局  
長なんだと思っっています。

僕は今回の合併問題で総  
務省の唯一の功績は、うち  
の村の住民といろんな話を  
して、村の今後どうあるべ  
きかの話ができたと。あ  
あいう機会がなかったらで  
きないですね。

**紙** そうですね。そうい  
えますね。本当に今日はあ  
りがたうございました。勉  
強になりました。

**竹田** ありがとうございます。